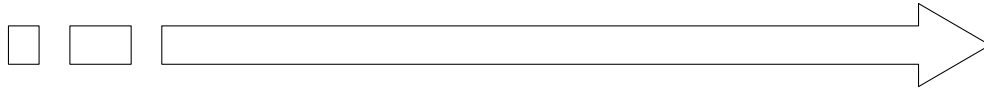


広島大学におけるアクセシビリティ支援・人材育成について



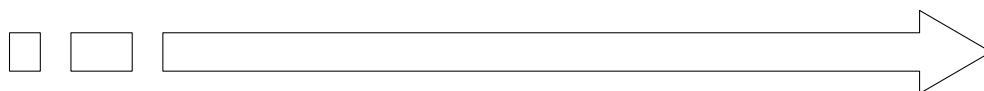
広島大学
大学院総合科学研究科・教授
アクセシビリティセンター長
佐野(藤田)真理子

2008年12月1日(月) 広島大学中央図書館ライブラリーホール

講演概要

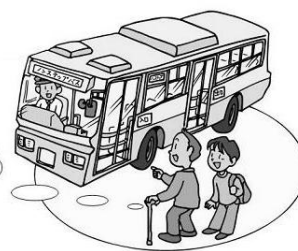
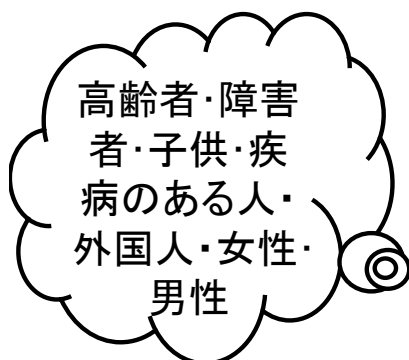
1. キーワードはアクセシビリティ
2. 広島大学の歩み
3. アクセシビリティセンターのミッション
4. これからの取組

1. キーワードはアクセシビリティ



アクセシビリティとは？

- 利用しやすさ
- 使いやすさ
- わかりやすさ



◆多様なユーザーにとって利用可能かどうか？

時代のニーズ

時代背景

少子高齢化 障害者の自立支援 高度情報化 グローバリゼーション
大学教育:学生層の多様化



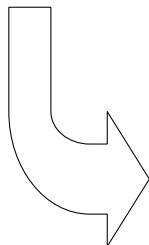
障害の有無や身体特性、
年齢や言語・文化の違いに関わらず、
情報やサービス、製品や環境の
「利便性を誰もが享受できる豊かな社会」
⇒創出できる人材

就学支援に関わる基本方針

6

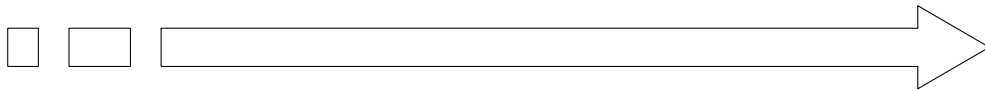
- すべての学生に質の高い同一の教育を保障
- 成績評価の基準は変えない

情報の伝達方法を障害に合わせて工夫



すべての学生に学びやすい
修学環境

2. 広島大学の歩み： 障害学生支援からアクセシビリティ 支援・教育へ



Phase 1:障害学生支援体制の構築 (H9-15)

8

1. 全学体制:障害学生支援部会 (H9～)
2. 大学規則 (H10～)
3. 入学前から卒業までの一貫した支援 (H12～)
4. 学生・教職員一体型の授業支援 (H12～)
5. 支援の拠点の設置 ボランティア活動室 (H12～)
6. 支援者育成のための授業開設 (H13～)

8